

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	北里大学病院における過去5年間のプラスミド性 AmpC 過剰産生菌の検出状況について (B23-070)
当院の研究責任者 (所属・職位)	臨床検査部・部長 狩野 有作
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	セフェム系抗菌薬の分解酵素である AmpC 型 -ラクタマーゼ(AmpC)は、-ラクタム系抗菌薬の使用によりその過剰産生が誘導され、多くの抗菌薬に耐性を示すようになります。一部の腸内細菌目細菌はもともとその産生遺伝子を保有していますが、プラスミドを介することによって他菌種にも伝播し、耐性化することがあるため、感染症治療において問題となります。本研究では、当院におけるプラスミド性 AmpC 過剰産生菌の検出状況を調査し、その検出率と耐性遺伝子の種類を疫学的に解析します。
調査データ 該当期間	2018年1月1日から2023年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院で微生物検査(分離培養検査)を行った方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2018年1月1日から2023年12月31日までの、電子カルテ上のデータと、微生物検査システムに記載のある検査データを利用します。そのうち、調査するデータは年齢、性別、診療科、各種抗菌薬の使用の有無、検体提出日、検体名、および対象菌株です。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、職員研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下

記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 臨床検査部 微生物検査室・係長

担当者: 二本柳 伸(ニホンヤナギ シン)

電話: 042-778-8501

備考